

モスピラン[®] 顆粒水溶剤

(MOSPILAN WSG)

登録番号 第22583号
 種類名 アセタミプリド水溶剤
 acetamiprid
 性状 青色水溶性細粒及び微粒
 有効年限 5年

有効成分 アセタミプリド 20.0%

PRTR 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩 (PRTR・1種) 2.4%

毒性 医薬用外劇物

包装 (100g×25袋)×4箱、250g×40袋、500g×20袋

■特 長

1. 新規の骨格 (ネオニコチノイド系) を持ち、作用機作が既存剤と異なるので、有機リン剤・カーバメイト剤・合成ピレスロイド剤などに効きにくくなった害虫にも有効です。
2. 幅広い殺虫スペクトルを有しています。
3. 高い活性があり、少ない薬量で長い残効性があります。
4. 速効性と強い浸透移行性を併せ持っています。
5. ミツバチ・マルハナバチに影響が少なく、いちご・トマトなどで活用できます。
6. 粉立ちが少ない製剤です。

■適用害虫名及び使用方法

(2016年11月30日現在)

作物名	適用害虫名	希釈倍数 (倍)	使用液量 (ℓ/10a)	使用時期	本剤の使用回数	アセタミプリドを含む農薬の総使用回数	使用方法
キャベツ	コナガ、アオムシ	1,000 ~ 2,000	100 ~ 300	収穫7日前まで	5回以内	6回以内 〔粒剤の定植時までの処理は1回以内、散布および定植後の株元散布は合計5回以内〕	散 布
	アザミウマ類	2,000 ~ 4,000					
メキャベツ	2,000	1回			1回		
非結球メキャベツ		2回以内		3回以内 〔土壌混和は1回以内、散布は2回以内〕			
トレビス	アブラムシ類	2,000		収穫前日まで	1回	1回	
はくさい	コナガ、アオムシ	1,000 ~ 2,000		収穫14日前まで	3回以内	4回以内 〔粒剤の定植時までの処理は1回以内、散布および定植後の株元散布は合計3回以内〕	
	カブラハバチ	4,000					
ブロッコリー	アザミウマ類 コナガ、アオムシ	2,000		収穫前日まで	2回以内	2回以内	
茎ブロッコリー	アブラムシ類	4,000					
カリフラワー	コナガ、アオムシ アザミウマ類	2,000		収穫7日前まで	3回以内	4回以内 〔粒剤の定植時までの処理は1回以内、散布は3回以内〕	
だいこん	アブラムシ類 カブラハバチ	2,000 ~ 4,000	収穫14日前まで	1回	1回		
	コナガ、アオムシ キスジノミハムシ ダイコンサルハムシ	2,000					
はつかだいこん	アブラムシ類	2,000 ~ 4,000					

殺 虫 剤 モスピラン顆粒水溶剤

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量(l/10a)	使用時期	本剤の使用回数	アセタミプリドを含む農薬の総使用回数	使用方法
わさびだいこん	コナガ	2,000	100 ~ 300	収穫7日前まで	1回	1回	散 布
かぶ	キスジノミハムシ アブラムシ類			4,000			
	カブラハバチ	収穫14日前まで					
なばな類	キスジノミハムシ アブラムシ類 カブラハバチ	4,000		収穫7日前まで	1回	2回以内 〔粒剤の処理は1回以内、 散布は1回以内〕	
非結球あぶらな科 葉菜類 〔チンゲンサイを 除く〕							
チンゲンサイ							
ザーサイ	キスジノミハムシ アブラムシ類	2,000 ~ 4,000		収穫前日まで	3回以内	4回以内 〔粒剤の株元散布は1回以内、 散布は3回以内〕	
レタス	アブラムシ類 ナモグリバエ						
非結球レタス	アザミウマ類 アブラムシ類 ナモグリバエ	4,000		収穫7日前まで	1回	2回以内 〔粒剤の株元散布は1回以内、 散布は1回以内〕	
うり類 (漬物用)	アブラムシ類	2,000 ~ 4,000		収穫前日まで	3回以内	3回以内	
にがうり オクラ		4,000	2回以内				2回以内
まくわうり		8,000		収穫3日前まで	3回以内	3回以内	
メロン							
かぼちゃ	カボチャミバエ ウリハムシ	2,000 ~ 4,000	収穫前日まで	2回以内	3回以内 〔は種時または定植時の 土壌混和は合計1回以内、 散布及び定植後の株 元散布は合計2回以内〕		
		2,000					
		4,000					
きゅうり	コナジラミ類 ウリノメイガ	2,000	収穫前日まで	3回以内	5回以内 〔粒剤の定植時までの 処理は1回以内、 2%粒剤の定植後の 株元散布は1回以内、 散布、くん煙および 1%粒剤の株元散布 は合計3回以内〕		
	アブラムシ類 アザミウマ類	2,000 ~ 4,000					
	ウリハムシ	4,000					
すいか	コナジラミ類 ウリノメイガ	2,000	収穫3日前まで		4回以内 〔定植時の土壌混和は 1回以内、散布、くん煙 および定植後の株元 散布は合計3回以内〕		
	アブラムシ類 アザミウマ類	2,000 ~ 4,000					
	ウリハムシ	4,000					

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量(ℓ/10a)	使用時期	本剤の使用回数	アセタミプリドを含む農薬の総使用回数	使用方法
なす	コナジラミ類	2,000	100～300	収穫前日まで	3回以内	4回以内 〔粒剤の定植時までの〕 処理は1回以内、散布、 くん煙および定植後の 株元散布は合計3回以内	散 布
	アザミウマ類	2,000～4,000					
	テントウムシダマシ類 アブラムシ類	4,000					
トマト ミニトマト		2,000			2回以内	3回以内 〔粒剤の定植時までの〕 処理は1回以内、散布、 くん煙および定植後の 株元散布は合計2回以内	
ピーマン	アブラムシ類 アザミウマ類 コナジラミ類	4,000					
とうがらし類 (ししとうを除く)	アブラムシ類	8,000			2回以内	2回以内 〔定植時の土壌 混和は1回以内〕	
ししとう						3回以内 〔定植時の土壌 混和は1回以内、 散布は2回以内〕	
にら						アブラムシ類 アザミウマ類	
にんにく	ネギコガ	2,000～4,000			2回以内	2回以内	
らっきょう	アザミウマ類	2,000			収穫14日前まで	3回以内	
たまねぎ			収穫7日前まで	3回以内	4回以内 〔土壌混和は1回以内、 散布は3回以内〕		
ねぎ						3回以内 〔粒剤の株元散布 および土壌混和 は合計1回以内、 散布およびくん煙 は合計2回以内〕	
わけぎ あさつき							2回以内
いちご			コナジラミ類	4,000			
	カキノヒメヨコバイ	2,000～4,000					
アスパラガス	アブラムシ類	4,000	60～150	収穫7日前まで	2回以内	2回以内	
	コナジラミ類 アザミウマ類 ジュウシホシクビナガハムシ						
麦類	アブラムシ類	4,000	100～300	収穫前日まで	3回以内	3回以内	
かんしょ			100～300	収穫前日まで	3回以内	3回以内	

殺 虫 剤 モスピラン顆粒水溶剤

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量(l/10a)	使用時期	本剤の使用回数	アセタミプリドを含む農薬の総使用回数	使用方法	
ばれいしょ	ジャガイモガ	2,000	100～300	収穫7日前まで	3回以内	4回以内 〔植付時の土壌混和は1回以内、植付後は3回以内〕	散 布	
	テントウムシダマシ	2,000～4,000						
	アブラムシ類	2,000～6,000						
やまのいも	アザミウマ類 アブラムシ類 ナガイモコガ	4,000		収穫21日前まで	5回以内	5回以内		
やまのいも(むかご)				収穫7日前まで				3回以内
やまのいも(種芋栽培)				種芋掘取り7日前まで	3回以内			
豆類(種実) (ただし、だいずを除く)	アブラムシ類	2,000～4,000		収穫14日前まで	3回以内	3回以内		
		コナジラミ類 アザミウマ類						4,000
	だ い ず	フタスジヒメハムシ						2,000～4,000
		アブラムシ類						
豆類(未成熟) (ただし、えだまめ、さやいんげん、さやえんどうを除く)	アブラムシ類 コナジラミ類 アザミウマ類	4,000		収穫7日前まで	3回以内	3回以内		
さやえんどう								
さやいんげん	アブラムシ類	2,000～4,000	収穫前日まで	3回以内	4回以内 〔は種時または定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は3回以内〕			
	コナジラミ類 アザミウマ類	4,000						
えだまめ	アブラムシ類 フタスジヒメハムシ		4,000	収穫7日前まで	3回以内	3回以内		
	未成熟とうもろこし	アブラムシ類		収穫前日まで				
とうもろこし(子実)	2,000		4,000	収穫14日前まで	2回以内	2回以内		
ヤングコーン		4,000						
にんじん	キアゲハ		4,000	収穫前日まで	3回以内	3回以内		
あしたば								
ふ き	コナジラミ類	3,000	収穫14日前まで	2回以内	3回以内 〔粒剤の株元散布は1回以内、散布およびくん煙は合計2回以内〕			
		4,000	収穫21日前まで	1回	1回			
モロヘイヤ	ナモグリバエ	4,000	収穫7日前まで	2回以内	2回以内 〔定植時の土壌混和は1回以内〕			
セルリー	アブラムシ類		収穫3日前まで	3回以内	3回以内			
クレソン	アブラムシ類		収穫3日前まで	3回以内	3回以内			

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量(ℓ/10a)	使用時期	本剤の使用回数	アセタミプリドを含む農薬の総使用回数	使用方法
しそ(花穂) タラゴン	アブラムシ類	4,000	100～300	収穫14日前まで	2回以内	2回以内	散 布
くきちしゃ ふだんそう エンサイ おかひじき				収穫7日前まで			
なたね				収穫45日前まで	1回	1回	
なずな ははこぐさ みつば		※					
ほうれんそう		8,000		収穫14日前まで	2回以内	2回以内	
しゅんぎく パセリ アマランサス(茎葉)				収穫3日前まで	1回	1回	
バジル タイム チャービル ディル(葉)				収穫21日前まで	3回以内	3回以内	
はっか オレガノ		収穫7日前まで					
マジョラム		収穫14日前まで					
セージ		4,000～8,000		収穫21日前まで	3回以内	3回以内	
レモンバーム つるな				収穫14日前まで			
りんご		ケムシ類、キリガ類		2,000	200～700	収穫前日まで	
	カイガラムシ類 モモチョッキリゾウムシ	4,000					
	アブラムシ類 キンモンホソガ ギンモンハモグリガ シンクイムシ類 カメムシ類 リンゴワタムシ	2,000～4,000					
なし	カメムシ類 アブラムシ類 シンクイムシ類 カイガラムシ類 カキノヒメヨコバイ	4,000	200～700	収穫前日まで	3回以内	3回以内	
	ナシホソガ						
おうとう	カイガラムシ類	2,000	200～700	収穫前日まで	1回	1回	
	オウトウショウジョウバエ カメムシ類	2,000～4,000					
	アザミウマ類	4,000					

※みつばの使用時期/収穫7日前まで ただし、伏せ込み栽培は伏せ込み前まで

殺 虫 剤 モスピラン顆粒水溶剤

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量(ℓ/10a)	使用時期	本剤の使用回数	アセタミプリドを含む農薬の総使用回数	使用方法
ぶどう	アザミウマ類 フタテンヒメヨコバイ カイガラムシ類 コガネムシ類成虫	2,000～4,000	200～700	収穫14日前まで	3回以内	3回以内	散布
	ツマグロアオカスミカメ トビイロトラガ	2,000		収穫後秋期			
	ブドウトラカミキリ			収穫14日前まで	2回以内	2回以内	
かりん	ナシヒメシンクイ						
びわ	アブラムシ類 カミキリムシ類	2,000～4,000		収穫前日まで	3回以内	3回以内	
	カイガラムシ類	2,000		収穫3日前まで			
ネクタリン	アブラムシ類 シンクイムシ類	4,000					
もも	モモハモグリガ アザミウマ類 カメムシ類	2,000～4,000					
	コガネムシ類成虫	2,000					
	コスカシバ カイガラムシ類						
小粒核果類 (うめ、すももを除く)	アブラムシ類	2,000～4,000					
	カイガラムシ類	2,000					
うめ	アブラムシ類	2,000～6,000		収穫前日まで			
	ケシクスイ類 ノコメトガリキリガ カイガラムシ類	2,000					
すもも	シンクイムシ類 アブラムシ類	2,000～4,000					
	カイガラムシ類	2,000					
いちじく	キボシカミキリ イチジクヒトリモドキ		2,000				
	アザミウマ類 カイガラムシ類	2,000～4,000					
かき	カキノヘタムシガ カキノヒメヨコバイ		4,000				
	カメムシ類	2,000～4,000					
かき (葉)	アザミウマ類 カイガラムシ類		2,000～4,000	収穫14日前まで			
	アブラムシ類 ミカンハモグリガ ゴマダラカミキリ成虫 コアオハナムグリ ケシクスイ類 アゲハ類 カメムシ類 ミカンバエ	4,000					
かんきつ	コナジラミ類		4,000				
	ゴマダラカミキリ※	200～400	30～75				※

※かんきつ：ゴマダラカミキリ(200～400倍)の使用法/主幹から株元に散布


作物名	適用害虫名	希釈倍数 (倍)	使用液量 (ℓ/10a)	使用時期	本剤の 使用回数	アセタミプリド を含む農薬の 総使用回数	使用方法	
さるなし	クワシロカイガラムシ	2,000	200～700	収穫7日 前まで	2回以内	2回以内	散 布	
キウイフルーツ	カイガラムシ類	2,000～ 4,000			収穫21日 前まで	3回以内		3回以内
	キウイヒメヨコバイ							
ゴレンシ	カイガラムシ類	4,000		収穫35日 前まで	2回以内	2回以内		
マンゴー	アザミウマ類 カイガラムシ類	2,000		収穫30日 前まで				
パッション フルーツ	カイガラムシ類			4,000	収穫7日 前まで	3回以内		3回以内 〔樹幹注入は 1回以内〕
く り	アブラムシ類 カイガラムシ類	2,000～ 4,000						
	クリミガ クリシギゾウムシ モモノゴマダラノメイガ							
あけび (果実) アセロラ	アブラムシ類	4,000		2回以内	2回以内			
ブルーベリー	オウトウショウジョウバエ			1回	1回			
さんしょう (葉)	アザミウマ類 アブラムシ類		6回以内	6回以内				
さんしょう (果実)	ゴマダラカミキリ幼虫		200	20	1回	4回以内 〔散布は1回以内〕 樹幹散布は 3回以内	樹幹散布	
	たらのき	センノカミキリ	2,000	200～700	収穫45日 前まで	3回以内		
食用さくら (葉)	アザミウマ類	4,000	200～700	収穫3日 前まで	1回	1回		
食用ぎく	アブラムシ類	2,000	100～300	収穫14日 前まで	2回以内	2回以内		
食用ゆり		4,000		収穫前日 まで	4回以内	4回以内		
しよくようほおずき		8,000		3回以内	3回以内			
食用なでしこ 食用カーネーション 食用エキザカム 食用せんいちこう 食用トレニア 食用パンジー				2回以内	2回以内			
食用金魚草 食用プリムラ				1回	1回			
茶	チャノミドリヒメヨコバイ チャノキイロアザミウマ チャノホソガ	2,000～ 4,000	200～ 400	摘採14日 前まで	1回	1回		
びゃくし	アゲハ類	2,000	100～ 300	発生初期	5回以内	5回以内		
おけら	アブラムシ類							
とうき								

殺 虫 剤 モスピラン顆粒水溶剤

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量(ℓ/10a)	使用時期	本剤の使用回数	アセタミプリドを含む農薬の総使用回数	使用方法
花き類・観葉植物(ストックを除く)	アブラムシ類	4,000	100～300	発生初期	5回以内	5回以内	散 布
	アザミウマ類	2,000					
ストック	アブラムシ類	2,000～4,000					
樹木類(まつ、やなぎを除く)	グンバイムシ類	2,000	200～700		5回以内	[樹幹注入は1回以内]	
やなぎ	ヤナギコハモグリ	2,000～4,000					
まつ		4,000					
たばこ	アブラムシ類	2,000～4,000	25～180	収穫10日前まで	2回以内	3回以内 [ただし定植後は2回以内]	
てんさい	テンサイトビハムシ テンサイモグリハナバエ	200	ペーパーポット 1冊当り1ℓ (3ℓ/m ²)	定植前	1回	3回以内 [苗床灌注は1回以内]	苗床灌注
なんてん(葉)	アザミウマ類	4,000	100～300	収穫21日前まで	2回以内	2回以内	散 布
ソルガム	アブラムシ類	6,000		収穫45日前まで	3回以内	3回以内	
まめ科牧草 飼料用とうもろこし				収穫90日前まで			
いね科牧草				収穫30日前まで			

△ 効果・薬害などの注意 (禁)

1. 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
2. なしに使用する場合、品種により葉に黒変の薬害を生じることがあるので注意してください。
 - ① 薬害が認められた事例がある品種
長十郎、新高、八雲及び愛甘水
 - ② 薬害が認められていない品種
二十世紀、新水、幸水、豊水、新星、ゴールド二十世紀、新興、晩三吉、愛宕、新雪、今村秋、新世紀、豊月、秋甘泉、新甘泉、なつひめ、あきづき、涼月、夏さやか、おさゴールド、玉秋、秋栄、筑水、八里、多摩、南水、越後錦、秋水、長寿、幸菊、ラ・フランス、ル レクチエ、マルグリット及びヤーリー
3. ぶどうに対しては、幼果期から果粒肥大期の散布は果粉の溶脱のおそれがあるので使用はさけ、新梢伸長期から落花期及び袋かけ以降に使用してください。
4. メロン、うり科作物に対しては葉縁に薬害を生じることがあるので、使用濃度、使用量を厳守し、幼苗期や高温時の使用をさけてください。
5. かんきつに対して希釈倍数200～400倍で使用する場合、薬液が葉にかかると薬害を生じることがあるので、かからないように十分注意して散布してください。
6. 蚕に対しては長期間毒性があるので、近くに桑園のある場合には絶対に桑葉にかからないようにしてください。
7. 散布量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節してください。
8. 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

△ 安全使用上の注意


9. 適用作物群に属する作物またはその新品種にはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
10. 医薬用外劇物。取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。使用中に身体に異常を感じた場合には、直ちに医師の手当を受けてください。
11. 眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
12. 使用の際は、防護マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用してください。作業後は手足、顔等を石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼してください。
13. 街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後（少なくとも使用当日）に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜などに被害を及ぼさないように注意を払ってください。

治療法：本剤の中毒に対しては、動物実験で、L-メチオニン製剤、グリチルリチン製剤及びグルタチオン製剤の注射投与が有効であるとする報告もあります。

保管：密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼・乾燥した所に、カギをかけて保管してください。盗難・紛失の際は、警察に届け出てください。

-
- 火災時は、適切な保護具を着用し水・消火剤などで消火に努めてください。
 - 漏出時は、保護具を着用し掃き取り回収してください。
 - 移送取扱いは、ていねいに行ってください。
 - 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

●モスピラン顆粒水溶剤の上手な使い方

- ①コナガ・アブラムシは抵抗性が発達しやすいので、作用性の異なる他の薬剤と輪番で使用し、連続散布はさけてください。